



2019年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月9日

上場会社名 株式会社CRI・ミドルウェア 上場取引所 東
 コード番号 3698 URL <https://www.cri-mw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 押見 正雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田中 克己 (TEL) 03-6418-7083
 四半期報告書提出予定日 2019年5月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年9月期第2四半期の連結業績(2018年10月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年9月期第2四半期	928	31.9	212	70.8	213	68.0	146	64.2
2018年9月期第2四半期	703	15.1	124	189.3	127	176.9	88	189.9

(注) 包括利益 2019年9月期第2四半期 139百万円(69.9%) 2018年9月期第2四半期 82百万円(123.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年9月期第2四半期	30.26	25.10
2018年9月期第2四半期	18.80	16.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年9月期第2四半期	4,341	2,578	59.0
2018年9月期	4,259	2,340	54.5

(参考) 自己資本 2019年9月期第2四半期 2,563百万円 2018年9月期 2,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年9月期	—	0.00			
2019年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年9月期の連結業績予想(2018年10月1日～2019年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900	15.8	410	2.1	420	1.5	291	2.4	59.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年9月期2Q	5,061,018株	2018年9月期	4,962,218株
② 期末自己株式数	2019年9月期2Q	159,032株	2018年9月期	159,032株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年9月期2Q	4,830,150株	2018年9月期2Q	4,733,880株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結損益計算書関係)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出・生産面に海外経済の減速の影響がみられるものの、企業の設備投資は増加傾向を続けており、景気は緩やかな拡大基調を続けております。

当社グループを取り巻く事業環境については、国内スマートフォンゲームアプリ市場に成長鈍化の懸念があるものの、スマートフォンゲームアプリの高度化・複雑化等により、当社ミドルウェアへの需要は引き続き堅調に推移しております。また、動画広告市場においては、企業によるオウンドメディアマーケティングの拡がりなども追い風となり、手軽な動画制作への需要が高まっております。

これらの状況下、当社グループは、今後成長が見込める事業、市場を見据えた研究開発体制を整備し、事業基盤の拡大、グループシナジーの創出に注力しております。

主力のゲーム分野においては、ミドルウェア活用企業の裾野が拡大してきたこともあり、当社製ミドルウェア「CRIWARE（シーアールアイウェア）」の国内ライセンス売上がスマートフォン向けを中心に好調に推移しました。組込み分野は、遊技機向けおよび家電・IoT等向けの受注が想定以上に落ち込んだことなどにより、減少しました。医療・ヘルスケア分野は、前期に受注したクリニック向け大型開発案件が引き続き好調に推移しました。新規分野は、WEB動画ミドルウェア「LiveAct PRO（ライブアクトプロ）」が時流の後押しもあり着実に増加しており、動画向けソリューション「CRI DietCoder（シーアールアイダイエットコーダー）」も監視カメラ向けを中心に引き続き堅調に推移しました。加えて、第1四半期に受注したアプリ開発案件が売上増に寄与しました。なお、2018年5月に完全子会社化した株式会社ウェブテクノロジーについては、販促面での連携を継続し、顧客への提案強化に取り組んでおります。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は928,595千円（前年同期比31.9%増）、営業利益は212,144千円（前年同期比70.8%増）、経常利益は213,860千円（前年同期比68.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は146,175千円（前年同期比64.2%増）となりました。

なお、当社グループはミドルウェア事業の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べて81,747千円増加し、4,341,706千円となりました。これは主に、「現金及び預金」の増加（前連結会計年度末に比べて113,877千円の増加）によるものであります。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末の負債の部は、前連結会計年度末に比べて156,768千円減少し、1,762,983千円となりました。これは主に、「未払法人税等」の減少（前連結会計年度末に比べて83,293千円の減少）、「賞与引当金」の減少（前連結会計年度末に比べて35,150千円の減少）及び「買掛金」の減少（前連結会計年度末に比べて20,182千円の減少）によるものであります。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は、前連結会計年度末に比べて238,515千円増加し、2,578,722千円となりました。これは主に、「親会社株主に帰属する四半期純利益」の計上額146,175千円による「利益剰余金」の増加及び新株予約権の行使による「資本金」並びに「資本剰余金」の増加（前連結会計年度末に比べて100,745千円の増加）によるものであります。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ134,191千円増加し、2,859,528千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により獲得した資金は57,018千円(前年同期は95,897千円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上213,860千円及び減価償却費の計上21,269千円の資金の増加要因があった一方、法人税等の納付額137,427千円、賞与引当金の減少額35,150千円等の資金の減少要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は20,329千円(前年同期は162,505千円の使用)となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入20,106千円の資金の増加要因があった一方、無形固定資産の取得による支出38,771千円の資金の減少要因があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により獲得した資金は98,767千円(前年同期は4,505千円の獲得)となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入98,767千円の資金の増加要因があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年9月期の連結業績予想は、2018年11月8日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,741,041	2,854,919
売掛金	501,475	475,880
仕掛品	3,606	947
有価証券	100,883	100,959
その他	39,070	33,022
貸倒引当金	△1,370	△1,302
流動資産合計	3,384,708	3,464,427
固定資産		
有形固定資産		
建物	29,548	29,548
減価償却累計額	△14,427	△15,219
建物(純額)	15,121	14,328
工具、器具及び備品	37,544	39,096
減価償却累計額	△30,652	△32,291
工具、器具及び備品(純額)	6,891	6,805
有形固定資産合計	22,013	21,133
無形固定資産		
ソフトウェア	149,265	169,504
その他	291	291
無形固定資産合計	149,556	169,795
投資その他の資産		
投資有価証券	588,437	582,876
繰延税金資産	53,111	42,706
その他	62,133	60,765
投資その他の資産合計	703,681	686,349
固定資産合計	875,251	877,279
資産合計	4,259,959	4,341,706

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	32,817	12,635
未払法人税等	154,197	70,903
賞与引当金	38,736	3,586
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	—	310,000
その他	212,108	193,244
流動負債合計	437,859	590,369
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	1,329,900	1,019,900
退職給付に係る負債	91,162	94,193
役員退職慰労引当金	54,740	58,520
繰延税金負債	6,089	—
固定負債合計	1,481,892	1,172,614
負債合計	1,919,752	1,762,983
純資産の部		
株主資本		
資本金	426,814	477,187
資本剰余金	458,306	508,679
利益剰余金	1,649,772	1,795,948
自己株式	△220,131	△220,131
株主資本合計	2,314,762	2,561,683
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,369	6,325
為替換算調整勘定	△3,150	△4,528
その他の包括利益累計額合計	8,218	1,796
新株予約権	17,227	15,243
純資産合計	2,340,207	2,578,722
負債純資産合計	4,259,959	4,341,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
売上高	703,852	928,595
売上原価	236,740	346,642
売上総利益	467,112	581,953
販売費及び一般管理費	※ 342,874	※ 369,809
営業利益	124,238	212,144
営業外収益		
受取利息	1,709	1,742
受取配当金	19	19
保険配当金	463	474
その他	1,057	325
営業外収益合計	3,249	2,561
営業外費用		
為替差損	121	845
固定資産除却損	92	0
その他	0	—
営業外費用合計	213	845
経常利益	127,273	213,860
税金等調整前四半期純利益	127,273	213,860
法人税、住民税及び事業税	42,960	63,418
法人税等調整額	△4,685	4,266
法人税等合計	38,275	67,685
四半期純利益	88,998	146,175
親会社株主に帰属する四半期純利益	88,998	146,175

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	88,998	146,175
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,260	△5,044
為替換算調整勘定	△3,501	△1,377
その他の包括利益合計	△6,761	△6,422
四半期包括利益	82,237	139,753
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,237	139,753
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	127,273	213,860
減価償却費	18,219	21,269
貸倒引当金の増減額(△は減少)	369	△68
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△35,150
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,873	3,031
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,530	3,780
売上債権の増減額(△は増加)	△136,084	34,212
たな卸資産の増減額(△は増加)	508	2,658
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,076	7,729
未払費用の増減額(△は減少)	9,639	△14,059
その他の流動負債の増減額(△は減少)	24,485	△26,819
その他	15,787	△18,228
小計	72,680	192,217
利息及び配当金の受取額	2,139	2,228
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	21,077	△137,427
営業活動によるキャッシュ・フロー	95,897	57,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,000	20,106
投資有価証券の取得による支出	△215,800	—
有形固定資産の取得による支出	△2,557	△1,858
無形固定資産の取得による支出	△44,326	△38,771
その他	179	193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△162,505	△20,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,175	98,767
新株予約権の発行による収入	2,329	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,505	98,767
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,469	△1,265
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,571	134,191
現金及び現金同等物の期首残高	2,424,593	2,725,337
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 2,359,021	※ 2,859,528

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
給与手当	75,824千円	86,343千円
役員退職慰労引当金繰入額	4,874	3,780
退職給付費用	1,910	1,533
貸倒引当金繰入額	369	△68
研究開発費	37,007	44,537

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
現金及び預金	2,359,021千円	2,854,919千円
有価証券	—	885
預け金	—	3,723
現金及び現金同等物	2,359,021	2,859,528

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、ミドルウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	18円80銭	30円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	88,998	146,175
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	88,998	146,175
普通株式の期中平均株式数(株)	4,733,880	4,830,150
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	16円00銭	25円10銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	827,413	991,565
(うち転換社債(株))	(582,732)	(582,732)
(うち新株予約権(株))	(244,681)	(408,833)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。